

「人間以下」と修道士に 刺殺された神父

カトリックマリア会——
煩惱で頭が一杯の我々には
初耳だったが、これはロー
マに総本部を置き、世界各
地で布教活動をしている敬
虔なるカトリック系の宗教
法人である。日本では暁星
学園（東京）や海星学園
（長崎）など学校教育を通
して布教を進めている。

父の血が付着していた。修
道院には部外者の立入りが
禁じられているので、内部
の者（による犯行）ではな
いかと思ひ、関係者に集ま
ってもらったが、高二の担
任をしていた中村勝彦修道
士（マ）の姿がなかった。修
道士は内側から鍵を掛けた
二階の居室で、刃渡り二十
センチの柳刃包丁を腹に刺した
まま、仰向けに倒れてい
た（捜査関係者）

「神父と修道士は、四十年
来の知己だったのです」
と言うのは、マリア会本
部（東京・千代田区）の神父
である。

「おふた方とも敬虔なカト
リックの家庭に育った方で
上智大学の同窓生です。不
仲説などは耳にしたことも
ございません。熱心な教育
者でもあった中村修道士だ
けに、一体何が彼を錯乱さ
せたのか私どもには知る由
もありません。事件後、吉
村神父のお母様から電話を
戴き、二人はともに天国に
召されたのですね」と言わ
れたのが唯一の慰めです」

「神父と修道士はとも」と
が、別の見方をしている
マリア会関係者もいる。

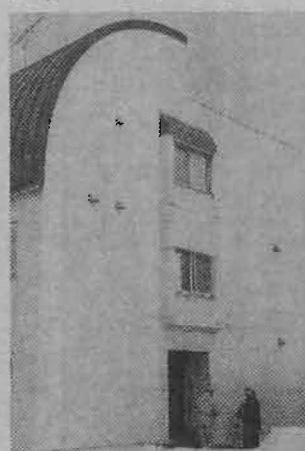
「神父が理事長に就任した直
後です。慌てて仮処分の申
請をし、昨年九月には最年
少児が十八歳になるまで、
向う十四年間は存続させ
るということで和解が成立
したのですが、学校側はそ
の後も父兄のもとに、アメ
リカの学校に転校させたら
どうか」などの手紙を送り
続けた。完全な違約です」

父兄が説明を求めに出向
くと、あろうことか学校側
は警察を呼んだという。

「実はマリア会はバブル期
にロンドン郊外に学校を造
っているんです。この時、
資金集めに奔走したのが当
時、副管区長だった吉村さ
んで数十億円を資金を集め
たのですが、この学校が
また赤字で……。横浜の廃
校話も、その穴埋めではな
いかと言われているんで
す」（先のマリア会関係者）



神父（上）と修道士



外壁には神父の血が